

H62c へびつかい座新星 V2574 Oph の多色測光観測による光度変化

田島由起子(ちはや星と自然のミュージアム)、新井彰、大西高司、勝浦真弓子、越山寛子、田中謙一、道頭健一、堀美沙、松本桂、福江純、定金晃三(大阪教育大学)

2004年4月14日に発見されたへびつかい座新星 (NOVA Oph 2004, V2574 Oph) について、大阪教育大学の51cm望遠鏡を用い、BVRI4色のフィルタによる多色測光観測を行った。この新星は、福岡県の高尾明氏および三重県の中村祐二氏によって独立に発見されたものであるが、増光後間もなく発見されたため、4月16日に開始した我々の観測においても、増光期の最終段階から捉えることができた。この観測は、現在も継続中である。極大付近の10.0等級より70日弱で3等級減光していることから、V2574 Oph はFAST NOVA に分類されると考えられる。また、岡山県の藤井貢氏の4月段階の分光観測によると、Fe II 輝線が強く出ていることから、Fe型NOVAとも考えられる。年会では、4色の光度曲線を示し、この新星の特徴を議論する。

尚この観測は、日本天文学会2004年度内地留学奨学金を田島が受け、大阪教育大学の指導・協力を得て行ったものである。